

専門支援コーナーとは

支援の対象となる学生

- ・ 障害者手帳を所持している、診断を受けている、障害特性を自認している学生で、障害特性に応じた職業相談・紹介を希望している学生
- ・ 発達障害等の特性がうかがわれ、専門的な就職準備支援を受けて就職活動を進めていくことを希望している学生

このようなご相談に応じています

- ・ 障害特性に応じた配慮を得て働くことを希望している学生に対して、どのように就職活動のサポートができるかを相談したい
- ・ ハローワークや支援機関とのチーム支援について相談したい



大阪新卒応援ハローワーク

学校チーム

就職を希望する
学生に関して大学等
と連携



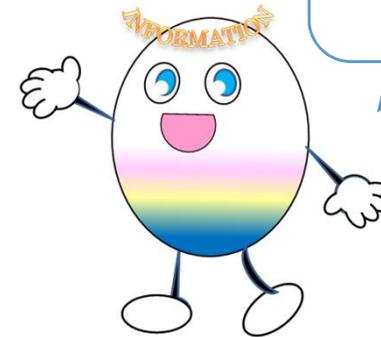
企業チーム

企業の採用ポイント
などの情報提供

専門支援チーム

※必要や希望により心理士と連携

企業や学校、支援機関
と協力し、さまざまな
側面から学生の就職活
動をサポート！



大学と連携をとり
学生をサポート

学生の就職への希望と困り感を
共有しながら就職活動を進めます

完全予約制で
個別の相談に応じます

概ね45分の相談時間です
障害特性、職業適性について理解を
深めていきます

支援機関へ
つないでいきます

必要に応じ支援機関について情報
提供、同行支援を行います

就職

までの道のり

それぞれの希望や状況に合わせてお手伝い
します

応募

求人に応募、面接
障害のある方向けの面接会

応募に向けた準備
(企業に出会う)

履歴書、自己紹介書（就労パスポート）の作成
障害特性、配慮事項の伝え方を検討、面接練習
求人情報を知る、企業の見学や職場体験、
障害のある方向けの企業説明会へ参加

働き方を検討する

障害を開示して／非開示で働くかを検討
自分にあった働き方（条件や環境）の整理

職業準備性を高める

職場で求められるコミュニケーションやビジネス
マナーの練習、職業生活に向けた自己管理能力を養う

自己理解を深める

得意・不得意の整理、学生生活やアルバイト経験などの
振り返り、職業生活の希望や不安を確認



障害を開示、非開示した働き方

	障害を開示して働く (オープン就労)	障害を開示せず働く (クローズ就労)
メリット	<ul style="list-style-type: none">・ 障害者専用求人へ応募可能・ 無理なく安定して働きやすくなる・ 自分の特性に応じた職場環境を調整してもらいやすい・ 通院や服薬への配慮が得られる・ 職場との調整を支援者と一緒に進めていくことができる	<ul style="list-style-type: none">・ 正社員求人が多い・ 障害者求人と比較すると給与が高い
デメリット	<ul style="list-style-type: none">・ 契約社員や準社員からのスタートが多い・ 一般求人に比べると給与が低い傾向・ 周囲にどのように受け止められるのか気にかかる	<ul style="list-style-type: none">・ 自己対処や工夫しながら働くため、我慢したり、無理しやすい・ 通院や服薬について業務時間外で調整する必要がある

就職への道のり

Aさんの事例

ハローワーク 来所まで

幼少期に「発達障害」と診断されたが、その後病院には通院していない。小中高と特別な配慮も必要とせず大学進学したところ、周囲に手助けしてもらえない友だちもなく単位取得にかなり苦労している。家族との不和や就活状況の不調などを理由に学生相談室を利用開始となる。学生相談室からキャリアセンターへの就労支援に繋がれたが、本人が障害者就労について詳細を知りたいとのことで新卒応援ハローワークを紹介する。

障害の状況

- 発達障害（アスペルガー症候群・ADHD）
- 手帳なし・通院先なし
- 障害の状況

発達障害と診断された病院は市民病院小児科のため、成人の通院予約ができない。大学入学して初めて自分の障害特性を理解してくれる必要性を痛感している。大学生活は、毎日変化の繰り返しで、何を優先すればよいのかわからないし、ストレス対処もわからず家に帰ると親にあたってしまい喧嘩が絶えない。二つのことを同時進行できないので、大学の単位取得と就活の両立が難しく、気が付けばエントリーシート提出が終わっている。今後の就職先を考えると、障害者就労も検討中。

ハローワーク利用開始から内定までの道のり

就 活

3回生 11月 ハローワーク利用開始

障害者就労についてのメリットデメリット、支援機関の説明。卒業までの見通し支援

3回生 2月 保護者同伴の面談

障害者就労を希望され、発達障害の診断ができる病院について、市町村保健センターや発達障害者支援センターを案内。障害者職業センターでの職業評価を勧める。

4回生 4月 障害者職業センターの職業評価

職業評価結果を共有し、障害特性の理解を深める。その後、手帳申請に向け通院開始となる。就労移行支援利用に向け、4件の事業所見学同行。

4回生 7月 就労移行支援利用・ハローワークとの役割分担

移行支援での準備支援・ナビゲーションシート作成や企業実習、ハローワークでの求人情報提供やエントリーシートの添削・面接練習などを重ねる。精神保健福祉手帳2級取得。

4回生 12月 10月エントリーの特例子会社に内定

Bさんの事例

ハローワーク
来所まで

保育所の先生から病院を勧められ「場面緘黙」と診断される。学習面には全く問題がなく、家族や仲の良い友達とは会話できるため、通院することもなく経過観察になっていた。3回生になり、他の学生が就職活動開始しているのに、全くその様子が覗えず、保護者からの依頼でハローワークへの相談となる。

当時の状況

- 場面緘黙
- 手帳なし・通院先なし
- 当時の状況

表情は硬いままで、同伴の母が今までの状況について説明。本人にも何度か質問を試みるが、目線を反らして反応しない。母によると働く気持ちは強いが、自分の気持ちをうまく人に伝えることができない。アルバイト経験はあるが、簡単な作業で長続きはしなかった。家族とのコミュニケーションは全く問題がなく、真面目で体力もあり学校を休んだこともない。ストレスがあるわけでもないし、話すこと以外は他の学生と同じ。障害者就労には家族が大反対している。

ハローワーク利用開始から内定までの道のり

就活

3 回生 3 月 保護者同伴の面談後ハローワーク利用開始

障害者就労については、家族が納得できないため非開示での就職を希望。一般就労を目指す上で必要なコミュニケーションスキルについて説明し、大学との連携同意を得る。

4 回生 4 月 同意書をもって大学と連携

個人情報取り扱い方に関する同意書もらい、卒業までの間大学キャリアセンターと連携希望する申し出を行い、今後の情報共有について大学側の承認を得る。

4 回生 6 月 一般就労を目指した業界研究と適職診断

コミュニケーションの練習に向け、1週間に1回本人面談を行う。キャリアインサイトによる適職診断を行った結果、対物志向でルーティン作業をこなすことが得意とわかる。

4 回生 7 月 大学キャリアセンターと役割分担

ハローワークでの準備支援・セミナー利用やディリー企業説明会参加・求人情報提供、大学キャリアセンターでのエントリーシートの添削・面接練習などを重ね、30社応募する。

4 回生 2 月 一般企業（製造業）クローズ応募に内定

よくあるご質問

Q 障害を持つ自分に、どのような仕事がむいているか、わからない。

A 障害の状況をお聞きしながら、働くことへの不安や希望についておうかがいします。職業適性について理解するために、必要に応じて専門機関をご案内します。

Q 障害開示について不安なことが多い。

A 障害開示か非開示かについて、働き方のメリット・デメリットを一緒に考えます。

Q 自分の強みも仕事の探し方もわからない。

A 学生生活を振り返りながら、一緒に強み探しをします。また、自分に合った仕事や職場環境を把握するなど様々な相談に応じます。

相談予約・お問い合わせについて

相談希望の学生がいる場合は、

完全予約制

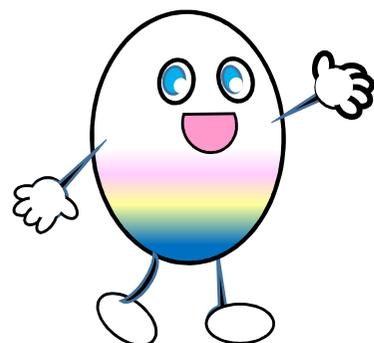
「相談予約受付フォーム」

にてお申し込みください。



https://jsite.mhlw.go.jp/form/pub/roudou27/osakashinsotsu_senmon_yoyaku

お問い合わせは、下記担当まで電話によりご連絡ください



大阪新卒応援ハローワーク

〒530-0017 大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル18階

TEL:06-7709-9455

※「専門支援コーナー担当者あて」とお申し出ください。

専門支援コーナーご利用時間：月～金 11：00～17：30